

事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和7年3月1日

事業所名 放課後デイサービスブアブよしみ

職員数 8 回収数 8 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	事業所としての改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			スペースは十分確保されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	8			個別対応等利用者のニーズに合わせ人員配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8			バリアフリー化にも適切に配慮されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			連絡事項を作成し、全職員が目を通して共通認識が持てるようにしている。 定期的に職員会議を行い共通認識に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			アンケート調査は実施していないが、連絡帳や送迎時など保護者から要望等ある時は記録、掲示し全職員が周知出来るようにしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	7		今年はできなかった。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			研修日程等掲示板に掲示、日々のミーティングで通達し、職員がいつでも参加できるようにしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			保護者からの要望を聞き、保護者のニーズや課題を分析し、個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			アセスメントツールを使用し、現状を把握できるよう努めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			その日の活動を職員間で話し合い、支援前のミーティングで報告している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			季節のイベントを取り入れたり、利用者の要望を聞き、固定化しないよう努めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			長期休暇には遠出や工場見学、季節のイベントを取り入れ、平日では行えない活動を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			各自の特性に応じ、その日その時の状況に応じて支援している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			毎日の担当、流れ、その日の連絡事項を貼り出し、支援に入る前にミーティングを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			送迎時間が異なるため全員とは行っていないが、その日あったことを社員に報告してもらい、翌支援前にミーティングで報告、内容を掲示して職員間で周知出来るようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			活動日誌にその日の活動内容、流れや特記事項を記録し、全職員が確認出来るようにしている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			半年に一度モニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	8			今後もガイドラインに沿った支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			自発管が行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8			必要に応じて連絡を取り合い、定期的に担当者会議を行って情報共有に努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	6	1	現在は該当しないが、必要に応じて対応していきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8			児童発達支援事業所との情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8			必要に応じて情報提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8			発達障害支援センター等、研修を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8			交流会等を開く機会はないが、公園や地域のイベント等で交流する機会はある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8			参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			送迎時や連絡帳で当日の様子を詳しく報告し、現状や課題の共通理解を持てるよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8			面談時や日々の活動の中でアドバイス等を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			契約時に丁寧な説明を心掛け、送迎時に当日の支援の内容を詳しく説明するよう努めている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			相談があった時には、即時対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	7	保護者会がないので、保護者間の連携は取りにくいと思う。保護者からも要望はないので今後も保護者会を行う予定はないが、必要に応じて対応していきたい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		現在苦情はないが、窓口は設置しており、苦情があった場合は即時対応出来る体制は整っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		毎月おたよりを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	8		充分配慮している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		連絡帳や送迎時に保護者に伝達している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8		事業所の行事に招待することは難しいが、地域のイベントに参加したり年始等の挨拶は行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8		各種マニュアルを策定し、定期的に研修を行い職員間での周知を徹底し、保護者への伝達を行うよう努めている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		年に3回（火災・通報2回、水害1回）行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		定期的に研修を行い、内容を掲示して共通認識を持つよう努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8		必要に応じて職員間で話し合い、やむを得ず身体拘束を行う場合は、十分保護者に説明し共通理解を得た上で、書面にて記録し、保護者の同意のもと拘束解除を目指して行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		契約時にアセスメントをして確認し、医師の指示書があれば記録している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		都度作成、ミーティングで報告、内容掲示して共通認識を持ち、再発防止に努めている。
合計数			322	14	8